

## <平成27年度事業計画書>

### (事業方針)

本年度は、昨年の活動を通して各本部で課題として認識した事項と、従来から抱える問題点の解決に具体的に取り組むこととする。

競技会においては、ニーズのあると思われる種目の導入や距離の変更などに取り組む。

普及に関しては、一部で中学生など縮小傾向にあるボート人口と、広く都民にボートに親しんでもらうという原点回帰を図る。

強化については、安定した強化事業が遂行できるようになっているが、ジュニアについては学校の部活動のあり方の変化に対応するなど、あらたな対応が必要となっている。

なお、今年度は、前述の課題の対応に加え、当協会は2020年の東京オリンピックにおいて大きな役割を果たすことを期待されていることを鑑み、経験豊富な先輩諸兄をはじめ、協会事業に興味のある方に積極的に関っていただき、人財の確保と適材適所で活躍いただくことにも注力したい。

### (各事業計画)

#### 1. 競技開催事業

以下の通り競技会を開催する。

1月17日	第27回関東ブロックマシンローイング大会	戸田
3月28～29日	第64回お花見レガッタ	戸田
	第25回東日本中学選手権競漕大会	
6月27～28日	第65回東日本選手権競漕大会	戸田
10月24～25日	第38回東日本新人選手権競漕大会	戸田
	第11回スカル選手権競漕大会	
	第25回東日本中学新人選手権競漕大会	

- ・東日本大学選手権競漕大会は中止し、東日本選手権大会は2000m化も選択肢に含め、実施要領の見直しを行う。
- ・東日本新人選手権の参加資格における「新人種目の制限」を見直し、日本ボート協会の全日本新人選手権のそれに合わせる。

#### 2. 普及事業

- ・以下の通り大会を開催する。

10月25日	第15回谷古茂盾争奪マスターズ競漕大会	戸田
	第5回小学生レガッタ	

- ・例年通りの活動を行うが、特に各水域のボート教室へ参加する小学生および中学生に対するボート競技への動機付け、ボート競技が実施できる水域の整備、「船着場・ボート置場・艇庫」の新設および増設を促進していくための、関係機関への助言および協力に力を入れて

いく。又、戸田ボートコースや各水域で行われるレガッタやマシンローイング大会の支援助成を行う。

### 3. 強化事業

- ・以下の通り予選会を開催する（高校関係は高体連主催）。

未定	国体チャレンジマッチ	戸田
6月21日	第63回全国高等学校選手権競漕大会 都予選会	戸田
未定	第70回国民体育大会ボート競技 成年都予選会	戸田
10月11日	平成27年度関東高等学校選抜競漕大会 都予選会	戸田

- ・以下の事業を強化事業として実施する。

#### ○国体候補選手強化事業

- ・11月、12月は大規模合宿を実施。（東京都全体の競技力の底上げを目標とする）
- ・東京選抜クルーとして、1月からの選考合宿に参加し、4月以降も強化遠征や合宿に参加できる覚悟、意識がある選手を集め、全種目の選抜クルー編成を目指す。
- ・5月の第二週もしくは第三週に国体チャレンジマッチを全種目実施し、優勝したクルーが、7月の国体関東ブロック大会に東京都代表として参加する。

#### ○国体強化遠征

- ・原則、東京選抜クルーが強化遠征に参加する。単独校での出場は、特別な場合を除いて認めない。（大半の選抜選手がそろわず、即席クルーでは弱体化する場合を除く）
- ・国体関東ブロック前に、ブロック突破を目標にした国体強化遠征を行う。
- ・国体関東ブロック突破したクルーで、国体強化遠征を行う。

4月中旬	三大学レガッタ	戸田
4月中旬	中日本レガッタ	愛知県愛知池
4月中旬	グリーンレガッタ	戸田
5月初旬	朝日レガッタ	滋賀県琵琶湖
8月末	福井レガッタ	福井県久々子湖

- ・以下の5事業を(公財)東京都体育協会の受託事業として実施する。

- 国体候補選手強化事業
- ジュニア選手強化事業
- ジュニア育成事業
- オリンピック候補選手強化事業
- トップアスリート発掘事業